

2019年 少林寺拳法東京都大会 競技に関する詳細

共通事項

- ①本大会は全国大会の予選も兼ねるので、選考・競技内容については、全国大会要項に準ずることを前提とする
- ②競技ならびに審査内容については、(財)少林寺拳法連盟競技規則・審判規則に基づく(発表の部のシニアの部は除く)
- ③防具の使用は、(一般財)少林寺拳法連盟公認防具のみの使用とする
- ③法器、武器(金属、木製問わず)の使用は禁止する
- ⑤出場資格については、本大会申込時の種目(資格)で出場のこと (袖章、帯についても、上記に準ずる)
- ⑥指定ゼッケンを着用のこと
- ⑦申込×切時点、出場申込が多数または少数の種目については、分割または統廃合を行う場合がある
- ⑧原則として、同資格の拳士と組み、該当する種目に出場する。
 但し、やむを得ず上級資格の拳士と組む場合は、上級資格の部に出場する。
武階が2階級以上離れて本大会に出場することは可(この場合は全国大会選考対象外とする)
- ⑨組演武はすべて2人一組とし、三人掛けは不可とする(障がい者の部は除く)
- ⑩「演武の構成」において、柔法で技に取り掛かる前の払いと2連までの反撃は1構成とみなさない。剛法の場合、攻者による2連攻までのやり直しは1構成とみなさない。
- ⑪使用科目は資格に準じたものとする
- ⑫資格外の科目の使用は10点減点とする。但し、一般級拳士で使用する技は見習～4級は3級科目まで、3～1級は初段科目まで可。
 小学生7級～見習においては、少年部6級科目まで使用可
- ⑬<<「男女有段の部」のみ適用事項>> ※それ以外の種目での男女の組合せでは、下記の適用はしない
- i) 男性の女性に対する技の極め、投げ、固めを禁止する
 - ii) 技の構成は全て女性が守者から始まり、その後続く連反攻でも女性が柔法・剛法のいずれも技を極め、固めを行うこと
 - iii) 違反した場合は、総合点より15点減点とする。
- ⑭<<親子の部A・Bのみ適用事項>>
- i) 各構成の最後の技の極め、固めは子供が行う
 - ii) 柔法の逆技については子供のみ使用できる 抜技においてはこの限りではない
 - iii) 違反した場合は、総合点より15点減点とする。
- <<親子の部Bに関する注意事項>>
- 全国大会では子供が中学生と小学生は同一種目。演武時間、使用禁止技等すべて小学生の条件に統一される予定です。
- ⑮<<「宙で回転する受身」に適用する事項>>
- i) 「男子マスターズの部A」「男子マスターズの部B」「女子マスターズの部」「中学生の部」「シニアの部」「親子の部A・B」は「宙で回転する受身」は禁止する
 - ii) 違反した場合は総合点から15点減点とする。

変更・特記事項

項	<p>iii) 他の種目においては、減点対象となる事項を設ける。</p> <p>1) 受身が不十分で危険を伴う内容とみなされた場合は総合点より5点減点</p> <p>2) 攻防に適合していない(守者の体捌き、並びに技の成立条件が不十分な状態で自ら無理に飛ぶ)「宙で回転する受身」は該当する構成の技術度の採点より、各審判員が1点減点</p> <p>⑩ <<一般男子・女子各資格別種目に適用する事項>>「科目指定組演武」として</p> <p>i) 科目指定別組演武を採用</p> <p>ii) 指定された科目を6構成のうち、3構成に組入れ各構成の最初に使用すること。但し、五花拳については、最初・途中・終わりのいずれの段階で使用しても可。</p> <p>iii) 指定された科目をどの構成で使用しているかを事前に指定用紙にて届出を行う</p> <p>iv) 2019年度考試員・審判員講習会の参考資料P20～22に各指定科目の注意点が掲載されています。こちらを所属長を通してご確認ください。指定科目の注意点についてご不明な点がございましたら、東京都連盟事務局までご連絡ください。メール: Jimukyoku-tokyo@shorinjikempo-tokyo.com</p>
---	---

	種目名	演武内容の規定 指定科目・必須条件	種目内容詳細
1	男子五段以上の部	押門投外: 攻者は上段逆突のみ 裏投 半月返: 守者は乱構から開始	演武時間: 1分30秒～2分 6構成のうち、3構成に左記科目を組入れ各構成の最初に使用すること。但し、五花拳については、最初・途中・終わりのいずれの段階で使用しても可。 武階の2階級以上の差は都大会の出場は可。
2	男子四段の部	片手投切返 三日月返: 守者は待機構 連反攻における「刈足」の使用は任意 押受投	演武時間: 1分30秒～2分 6構成のうち、3構成に左記科目を組入れ各構成の最初に使用すること。但し、五花拳については、最初・途中・終わりのいずれの段階で使用しても可。 武階の2階級以上の差は都大会の出場は可。
3	男子三段の部	片手投切返 三日月返: 守者は待機構 連反攻における「刈足」の使用は任意 押受投	演武時間: 1分30秒～2分 6構成のうち、3構成に左記科目を組入れ各構成の最初に使用すること。但し、五花拳については、最初・途中・終わりのいずれの段階で使用しても可。 武階の2階級以上の差は都大会の出場は可。
4	男子初・二段の部	逆轉身蹴: 守者は八相構から開始 対天一 逆蹴地三	演武時間: 1分30秒～2分 6構成のうち、3構成に左記科目を組入れ各構成の最初に使用すること。 武階の2階級以上の差は都大会の出場は可。
5	男子級の部		演武時間: 1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 見習～4級: 3級習得科目まで使用可 3～1級: 初段習得科目まで使用可 級拳士の男女の組合せについては、男子級の部に出場のこと

	種目名	演武内容の規定 指定科目・必須条件	種目内容詳細
6	女子三段以上の部	逆袖巻 上受投 払受地二	演武時間：1分30秒～2分 6構成のうち、3構成に左記科目を組入れ各構成の最初に使用すること。但し、五花拳のみは構成の最後に使用可 武階の2階級以上の差は都大会の出場は可。
7	女子初・二段の部	龍投 諸手輪抜 巻落	演武時間：1分30秒～2分 6構成のうち、3構成に左記科目を組入れ各構成の最初に使用すること。 武階の2階級以上の差は都大会の出場は可。
8	女子級の部		演武時間：1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 見習～4級：3級習得科目まで使用可 3～1級：初段習得科目まで使用可
9	男女有段の部	女性が構成の最初は必ず守者 構成の最後の「極め」も女性	演武時間：1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 有段者のみを対象とする。男女級の組み合わせは、男子級の部へ出場のこと
10	男子マスターズAの部	「宙で回転する受身」は禁止	演武時間：1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 男女の組み合わせはこの種目に出場のこと。出場資格については前項の一覧表で確認のこと
11	男子マスターズBの部	「宙で回転する受身」は禁止	演武時間：1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 男女の組み合わせはこの種目に出場のこと。出場資格については前項の一覧表で確認のこと
12	女子マスターズの部	「宙で回転する受身」は禁止	演武時間：1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 出場資格については前項の一覧表で確認のこと
13	シニアの部(発表の部)	「宙で回転する受身」は禁止	演武時間：制限は設けない 成績優劣なし 発表のみ最後にコートごと講評 1～4構成内容についてはすべて自由とする 出場資格については前項の一覧表で確認のこと

	種目名	演武内容の規定 指定科目・必須条件	種目内容詳細
14	親子の部A	小学生は「宙で回転する受身」は禁止 親子の部Aの規定あり (共通事項参照)	演武時間:1分～1分30秒 1～6構成内容についてはすべて自由とする 子供が各構成最後の技の極め、固めを行う 柔法の逆技においては子供のみ使用できる 上記を違反した場合は総合点より15点減点とする 小学生以下への禁止科目は、下記の表を参照のこと
15	親子の部B	中学生は「宙で回転する受身」は禁止 親子の部Bの規定あり (共通事項参照)	演武時間:1分～1分30秒 1～6構成内容についてはすべて自由とする 子供が各構成最後の技の極め、固めを行う 柔法の逆技においては子供のみ使用できる 上記を違反した場合は総合点より15点減点とする 中学生への禁止科目は、「親子の部A」の規定に準ずる(下記の表を参照のこと)
16	夫婦の部		演武時間:1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする
17	大学生男子の部		演武時間:1分30秒～2分 武階不問 1～6構成内容についてはすべて自由とする 男女の組み合わせはこの種目に出場のこと。出場資格については前項の一覧表で確認のこと
18	大学生女子の部		演武時間:1分30秒～2分 武階不問 1～6構成内容についてはすべて自由とする 出場資格については前項の一覧表で確認のこと
19	高校生男子の部		演武時間:1分30秒～2分 武階不問 1～6構成内容についてはすべて自由とする 男女の組み合わせはこの種目に出場のこと。出場資格については前項の一覧表で確認のこと
20	高校生女子の部		演武時間:1分30秒～2分 武階不問 1～6構成内容についてはすべて自由とする 出場資格については前項の一覧表で確認のこと

	種目名	演武内容の規定 指定科目・必須条件	種目内容詳細
21	中学生男子の部	中学生は「宙で回転する受身」は禁止	演武時間：1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 男女の組み合わせはこの種目に出場のこと。出場資格については前項の一覧表で確認のこと
22	中学生女子の部	中学生は「宙で回転する受身」は禁止	演武時間：1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 出場資格については前項の一覧表で確認のこと
23	小学生自由Aの部	小学生は「宙で回転する受身」は禁止	演武時間：1分～1分30秒 1～6構成内容についてはすべて自由とする 小学生以下への禁止科目は、下記の表を参照のこと
24	小学生自由Bの部	小学生は「宙で回転する受身」は禁止	演武時間：1分～1分30秒 1～6構成内容についてはすべて自由とする 小学生以下への禁止科目は、下記の表を参照のこと
25	小学生1級の部	規 定 (2019度少年少女錬成大会で 行う規定組演武)	組合せは小学生以下、未就学児も出場可。演武時間の規定は設けない。 組演武内容は2018年度少年少女錬成大会で使用する規定組演武を採用
26	小学生2級の部		
27	小学生3級の部		
28	小学生4級の部		
29	小学生5級の部		
30	小学生6級の部		
31	小学生7級の部		
32	小学生8級～見習の部		
33	一般団体の部	団体演武構成の規定あり (右記参照)	大会要項に記載されている科目の使用について必ず確認すること 演武時間：1分30秒～2分 演武構成については、1・6構成を単独演武 2～5構成を組演武(2人1組)とする(3人は不可、違反の場合は総合点から15点減点) 単独演武は、以下の基本単独法形より、1構成目、6構成目で各々1技選択し、一方向のみで行う 《基本単独法形》 天地拳第1～6系、義和拳第1・2系、龍王拳第1・3系、龍の形、紅卍拳、白蓮拳第1系
34	大学生団体の部		
35	高校生団体の部		

	種目名	演武内容の規定 指定科目・必須条件	種目内容詳細
36	中学生団体の部		使用する科目は、出場する構成メンバーの最高資格者に応じた範囲までとする 合図的は動き、気合は不可とし、総合点より5点減点する 使用科目とエントリーに関する注意点は「大会要項22」を確認のこと
37	小学生団体3級以上の部	団体演武構成の規定あり (右記参照)	演武時間:1分～1分30秒 構成人数は6か8名。構成メンバーの最上級資格によって、「3級以上の部」または「4級以下の部」に出場 演武構成については、1・6構成を単独演武 2～5構成を組演武(2人1組)とする(3人は不可、違反の場合は総合点から15点減点)
38	小学生団体4級以下の部		単独演武は、以下の基本単独法形より、1構成目、6構成目で各々1技選択し、一方向のみで行う 《基本単独法形》 天地拳第1～6系、義和拳第1・2系、龍王拳第1・3系、龍の形(逆小手単演)、卍の形、白蓮拳第1系 使用する科目は、構成メンバーの最高資格者に応じた範囲までとする 号令、気合を合図として用いることを可とする
39	男子運用法の部	双方攻守による立合評価法	出場資格:①16歳以上かつ初段以上であり、2019年の立合評価法に関する研修を受講済の事 ②東京都連盟、関東実業団連盟、 東京都を拠点とした関東学生連盟に登録している拳士 申込は、大会出場申込と同一のエントリーシートで申込のこと 7月21日は大会運営スケジュール上本選のみ行う 別途予選会を6月2日に実施予定
40	女子運用法の部		
41	マイシードの部	単独演武・組演武・団体演武 いずれも可(右記参照)	単独演武・組演武・団体演武のいずれも認める 組演武においては健常者との組合せは可 介護者同伴の演武も可 三人掛けの組演武も可 演武に際し、車いす・杖等の補助器具の使用を認める 武器・法器の使用は認めない

	種目名	演武内容の規定 指定科目・必須条件	種目内容詳細
42	論文の部		詳細については、大会要項NO22を参照のこと 別途予選会を6月2日に実施予定
備 考	小学生に対する禁止技		肘抜より前天秤・送巻天秤・逆手投・龍投・外巻天秤・切返天秤・切返巻天秤上受逆手投・逆天秤・腕十字固・天秤固・送天秤捕(二種)・吊上捕・吊落・袖巻天秤・外巻落・投技に対し宙で回転する受身(身体全ての部位が地面から離れる受身)・刈足及び後刈倒 ※「一本背投」や「肩車」に対して大車輪を用いた受身については小学生の部禁止技としない
			中学生以上が小学生に対して龍華拳、五花拳、金剛拳、羅漢拳(逆技)を用いることも禁止とする